

教育協力ウィーク 基礎教育セッション① 算数
「教科書教材開発を通じたこれからの算数教育協力」

1. 背景

近年、複雑に関係する現代社会の問題を解決できる人材育成をしていこうと国際的にも STEM 教育や理数科教育に注目が集まっている。その中で、算数数学教育は、情報や条件を使いこなす力や筋道を立てて考える力、ものの形を認識・想像する力など思考力を育むことができ、これまで以上に重要性が増している。

日本は、これまで国際的な算数数学学力調査である PISA や TIMSS において、上位に位置しており、世界から注目されてきた。その要望に応える形で、算数教育協力を世界各国で実施してきた。

そこで、本セッションでは日本の算数教育支援で開発した各国の算数教科書の比較を通して、算数カリキュラムや教科書の構成の違いを考察し、これからの算数教育協力の在り方を参加者で検討する。

2. 目的

- ・これまでの教科書開発を通じた算数教育支援の知見の蓄積を行う
- ・今後の途上国の教科書（教材）開発を通じた算数教育協力の戦略を考える

3. 主な対象者

教育協力事業に関わる実務者、教育協力に関心のある一般参加者等

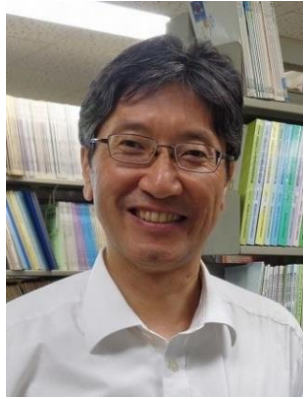

4. 使用言語

日本語

5. 開催方法

オンライン

6. 登壇者

<p style="text-align: center;">国際協力機構 JICA 国際協力専門員（教育） 西方 憲広（にしかた のりひろ） 発表国：エルサルバドル</p>	
<p>新潟県小学校教諭、JOCV（ホンジュラス小学校教諭）、在ホンジュラス大使館専門調査員、JICA 技術協力専門家（教育省アドバイザー、第1回中米カリブ広域算数教育協力、第2回中米広域数学教育協力）、現在は国際協力専門員として主にアフリカ、アジア、中米で「教科書開発を中心とした学びの改善クラスター」案件を担当。</p>	
<p style="text-align: center;">アイ・シー・ネット株式会社 シニアコンサルタント 伊藤 明德（いとう あきのり） 発表国：パプアニューギニア</p>	
<p>1990年に青年海外協力隊視聴覚教育隊員としてPNGに派遣、その後JICAシニア協力隊員、技術専門家、4つの大型技術協力プロジェクト総括、UNICEFアドバイザーなどPNGを中心に活動。現在、JICAのPNG初等理数科教員養成校強化プロジェクト業務主任担当。2003年からアイ・シー・ネット株式会社に所属。 職種：教育開発・教育行政・教育メディア・理数科教材開発 ライフワーク：日本とPNGの架け橋のボランティア活動 NPO日本PNG協会ポートモレスビー支部長 NPOアジア太平洋子供会議イン福岡PNG現地調整員 パプアニューギニア政府より公共サービス勲章受勲（2015年） 在PNG渡邊信之日本大使より在外公館長表彰授賞（2023年）</p>	

学校図書株式会社

代表取締役社長

芹澤 克明(せりざわ かつあき)

発表国:パプアニューギニア

2005年日本で初めて検定教科書算数の英訳本を発行。メキシコ、チリ、タイ等で現地語に翻訳された教科書が発行されている。2016年～2019年 JICA の PNG 理数教科書の作成プロジェクトに参加し、小学校3年～6年の算数と理科の編集作業にかかわる。現在、PNG 教育省と直接契約を結び、1年、2年の算数と理科の教科書の作成を進めている。また、同時に JICA 民間連携事業による PNG 国内でのワークブックの販売についてマーケティング調査を実施中。その他、文部科学省 Edu-Port 「PNG デジタル指導書開発プロジェクト」、総務省「PNG におけるタブレット実証事業」を実施。



株式会社パデコ 教育開発部

シニア・アソシエイト

齋藤 健二(さいとう けんじ)

発表国:ラオス

茨城県内の公立小・中学校教諭として勤務。その後 PNG、エクアドルでの JICA ボランティアを経て、教育開発コンサルタントとしてザンビア、バングラデシュ、ラオス、エジプト、インド等の案件に携わる。主な担当は算数・数学教育と特別活動・全人教育。



株式会社パデコ 教育開発部



次長/シニア・コンサルタント

中野 明子(なかの あきこ)

発表国:ラオス

中国四川省の教員養成校、青海省のチベット族の高校での英語教師として勤務。米国ハーバード大学教育大学院で国際教育政策専攻後、2006年より株式会社パデコに入社。ラオス国初等教育における算数学習改善プロジェ



<p>クトでは、副総括、教員教育、その他バングラデシュ、モザンビークでの小学校、教員養成校初等科の算数・理科教科書、教材開発案件の業務調整、教師教育、教育計画を担当。</p>	
<p style="text-align: center;">株式会社パデコ 教育開発部 シニア・アソシエイト 今堀 勇 (いまほり いさむ) 発表国：バングラデシュ</p>	
<p>北海道大学理学部数学科卒。オーストラリア・タスマニア大学物理数学科修了。北海道立高等学校数学科教諭として約10年間勤務。青年海外協力隊・JICAシニアボランティア数学教師として、ガーナ、トンガ、フィジーで活動。2009年より現職。ミャンマー、バングラデシュ、ラオス、パプアニューギニアの小学校算数教科書開発、教師用算数指導書開発、教員養成大学算数教育教材開発などに従事。</p>	
<p style="text-align: center;">株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング コンサルティング事業部 教育部 板垣 暁歩 (いたがき あきほ) 発表国：モザンビーク</p>	
<p>青年海外協力隊(サモア・理数科教師)、国内での教員(高校・数学)を経て、2020年株式会社コーエイリサーチ&コンサルティングに入社。モザンビーク国新しい学校教育制度に対応したカリキュラム普及プロジェクトでは、主に算数のカリキュラム・教科書・教師用指導書の改訂を支援。現在は、2023年5月よりJICA個別専門家(算数教育実践強化)として南アフリカ共和国の基礎教育局に赴任し、同省が行う算数教育のパイロットプロジェクトを支援。</p>	

筑波大学大学院 教育学学位プログラム
国際教育サブプログラム 博士前期課程1年

関口 ゆみ (せきぐち ゆみ)

発表国：エチオピア

小中学校教員としてモザンビーク (JOCV), 横浜市, ベトナム日本人学校, 茨城県で勤務。JICE 留学生支援業務, JICA ジュニア専門員 (基礎教育) を経て, ザンビア IPeCK プロジェクトおよびエチオピア MUST プロジェクトに数学教育専門家として従事。現在は大学院にて「教育とは何か」を考え中。



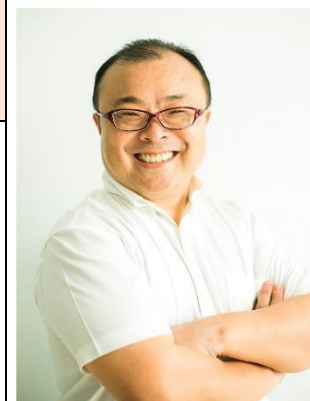
【モデレーター】

株式会社パデコ 教育開発部

プリンシパル・コンサルタント

高橋 光治 (たかはし こうじ)

1993年に青年海外協力隊 (ネパール・数学教師) として派遣されて以来、一貫して算数/数学教育開発に携わり、特にネパール、バングラデシュ、ミャンマー、ラオス、カンボジアといった南・東南アジア各国の算数/数学カリキュラム・教科書・指導書開発案件に従事。カンボジア国からは長年の貢献に対して勲章を与えられている。教育学修士 (数学) 並びに MA (Education and International Development)。



【モデレーター】

独立行政法人 国際協力機構

人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第1チーム

企画役 兼 緒方貞子平和開発研究所 主任研究員

田口 晋平 (たぐち しんぺい)

大学卒業後、千葉県中学校数学科教諭として勤務。青年海外協力隊 (南アフリカ共和国) 理数科教師として算数・数学教員の能力強化に従事。JICA 人間開発部にジュニア専門員として勤務、理数科教育案件を担当。ケニア理数科教育強化計画 (SMASE) に数学教育専門家として赴任し現職教員研修制度の構築に取り組む。米国大学院留学 (教育政策) を経て JICA 入構。南スーダン事務所、人



間開発部、研究所、国内長期研修（博士課程）を経て、再び人間開発部に勤務。現在は主にアジア、中東、ウクライナの教育支援を担当。	
--	--

7. 次第

時間	内容	発表者／司会
14:00-14:05	開会（5分）	司会
14:05-15:05	取り組みのご紹介（60分）：	登壇者：西方憲広氏、伊藤明德氏、芹沢克明氏、齋藤健二氏、中野明子氏、今堀勇氏、板垣暁歩氏、関口ゆみ氏 モデレーター：高橋光治氏、田口晋平氏
15:05-15:35	パネルディスカッション（30分）：	
15:35-15:40	閉会（5分）	司会

8. 議論方法

質疑応答を中心としたオープンディスカッション

以上